

感染症 ひとくち情報

ロタウイルスにご注意ください



2017年4月25日
東京都健康安全研究センター

1 ロタウイルスとは

ロタウイルスは、感染性胃腸炎の原因となるウイルスの一種です。

感染性胃腸炎の原因となるウイルスには、他に「ノロウイルス」「サポウイルス」「アデノウイルス」などがありますが、ロタウイルスは、乳幼児の急性重症胃腸炎の主な原因ウイルスとして知られており、5歳までにほぼすべての子供がロタウイルスに感染するといわれています。

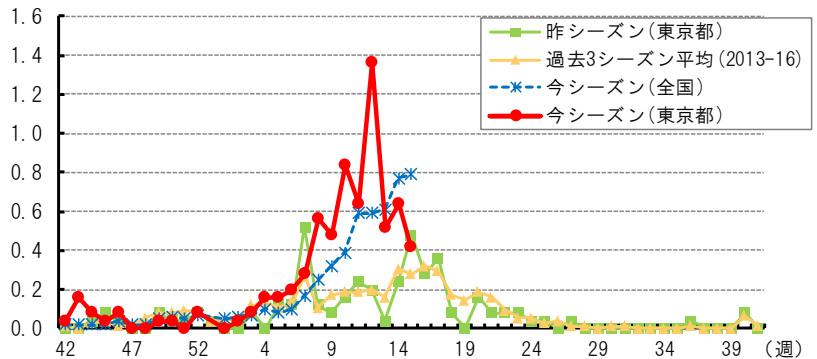
その症状は、水のような嘔吐や下痢、発熱や腹部の不快感です。脱水症状がひどい場合には点滴が必要になり、入院が必要になることもあります。合併症として、けいれん、肝機能異常、急性じん不全、脳症、心筋炎などを起こすことがあり、命にかかわる場合があります。

2 季節的に流行します

例年、3月から5月にかけて乳幼児を中心に胃腸炎の流行が起こりますが、この中にロタウイルスによる胃腸炎が多く含まれています。

今年は例年にない規模でロタウイルス患者が報告されており、脳症を発症した報告も複数あります。

(人/定点*) ロタウイルスによる感染性胃腸炎患者報告数の推移



* 定点医療機関：患者が多い疾患を把握するために受診患者数を報告している都指定の医療機関

* シーズン：ロタウイルスによる感染性胃腸炎は2013年第42週から報告が始まっているため、このグラフでは第42週を区切りにシーズンを分けています。

※一般的な感染性胃腸炎は第36週でシーズンを区切ります。

3 予防のポイント

- こまめな手洗いを習慣づけましょう。特に排便後、調理や食事の前には、その都度、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- おう吐物やふん便を処理する時は、使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系の漂白剤）で処理しましょう。処理をした後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう（施設では処理用具のセットを予め準備しておきましょう）。
- ロタウイルスのワクチンによる予防ができます。対象者は生後間もない乳児で、任意での接種になりますので、詳細については医療機関でご相談ください。



* 都内のロタウイルスの検出状況や、今年の流行状況をお知りになりたい場合は、東京都感染症情報センターの「感染性胃腸炎」のページをご参照ください。

感染性胃腸炎 東京都

検索

